

日中友好に尽くされ、安倍政権への抗議に立ち上がられた宮崎満先生の遺志を継ぐ

宮崎 満先生(元松山大学学長)追悼学術講演会

主催・宮崎満先生追悼学術講演会実行委員会 共催・えひめ地域再生戦略研究会

日時 6月24日午後6時30分～
会場 松山大学樋又キャンパス・H2A教室(大教室)
講師 岡田知弘先生



「アベノミクス」批判—安倍政治に抗して

「地方創生」論の限界はどこにあるのでしょうか。

「地方創生」は規制緩和によって、東京に本社を置く一部のグローバル企業がビジネスチャンスを拡大することを意味しています。決して、地域経済を現に担っている中小企業や農家、協同組合の投資力を高めるところに焦点を置いてはいません。だからこそ、「再生」という言葉を使わずに、ゼロからの出発を意味する「創生」という言葉をあえて使っているのでしょう。

カギとなるのは、地域に根ざし、地域経済の圧倒的部分を担う中小企業群であり、農家や協同組合です。国がトップダウン的に進める「地方創生」ではなく、地方自治体が地域の住民や企業とともに自らの自治体の目標を掲げ推進すること、それに向けた取り組みを国が黒子役としてサポートするボトムアップ型の「地域再生」こそ、大都市でも農村でも求められています。

京都大学大学院経済研究科教授
自治体問題研究所理事長
日本地域経済学会会長

松山大学キャンパス案内

樋又キャンパス



鉄砲町電停

※駐車場は利用できません。
市電をご利用下さい

